

B 0 1 躍動



所在地 総合運動公園
 建立年月日 平成9年10月
 建立者 深川市
 管理者 教育委員会
 建立の由来等

深川市のスポーツ都市宣言 30周年を記念して建立。

B 0 2 深川ロータリクラブ創立十五周年記念



所在地 総合運動公園
 建立年月日 昭和49年5月12日
 建立者 深川ロータリクラブ
 管理者 -
 建立の由来等

深川ロータリクラブの創立 15周年を記念して建立。

B 0 3 深川土功組合記念碑



所在地 一已町水源（水源神社内）
建立年月日 大正 11 年
建立者 深川土功組合
管理者 深川土地改良区
建立の由来等

本記念碑は大正 11 年に深川土功組合かんがい施設創設事業として、当時の事業費 69 万 5,914 円で竣工したことを記念し、建立したものでありますが、この度、北空知地区直轄かんがい排水事業深川取水工改修工事に支障となり、同事業の補償工事として移設再建立し、更に基礎石垣素材に大正用水路石材を後年の記念として使用したものであります。（昭和 62 年現在地に移設）

B 0 4 招魂碑



所在地 一已町水源（水源神社内）
建立年月日 昭和 13 年 9 月 17 日
建立者 深川土功組合
管理者 深川土地改良区
建立の由来等

大正 5 年 9 月給水面積 5,000ha を予定した深川土功組合かんがい溝工事の尊い犠牲となった人を祀った。

B05 利水



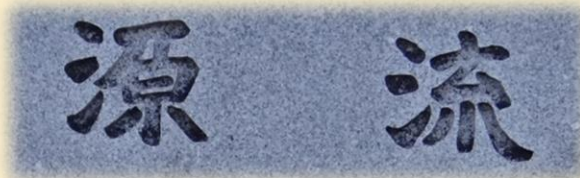
所在地 一已町水源（大正緑道）
建立年月日 昭和39年3月
建立者 深川土地改良区
管理者 深川土地改良区
建立の由来等

本記念碑は、昭和39年3月道営災害復旧事業により旧来の鉄線蛇籠鞍掛堰堤より、高度のコンクリート堰堤工法で築造された頭首工の記念として、建立されたものであります。（中略）

この度国営事業北空知地区で北空知頭首工、用水路改修工事により、その役目が終り花園頭首工が取り壊されることになりました。

利水神として永年風雪に耐えた記念碑を北海道開発局の御高配により残すべく当地に移設したものであります。（平成9年移設）

B06 源流



所在地 一已町水源（大正緑道）
建立年月日 昭和62年6月30日
建立者 深川土地改良区
管理者 深川土地改良区
建立の由来等

北空知地区直轄かんがい排水事業深川取水工工事が本年3月に完成し、新しい取水工により通水を行ってまいります。顧みますと、旧取水工は大正5年に完成し以来七十余年に亘る通水を行い、今日北海道有数の稲作基地をみるたびに、旧取水工取り壊しに対し哀歓を感じるものであります。

この度、深川取水工工事を担当されました深川農業開発事業所並びに施工にあられた事業者に私の気持ちを申し上げたところ、心よく御賛同いただき旧取入口の門柱及び隧道の一部を残していただいたのであります。

この御好意を基にして先人の御苦勞に敬意と感謝の意をこめ、併せて後年、組合員に記念として本記念碑を建立した次第であります。

B07 二宮尊徳像



所在地 旧入志別小学校敷地内
建立年月日 昭和13年6月4日
建立者 渋谷東七氏寄贈
管理者 ー
建立の由来等

入志別小学校第一回卒業生である渋谷東七氏が建設し寄贈されたもの。

B08 入志別小学校跡



所在地 旧入志別小学校敷地内
建立年月日 平成7年2月26日
建立者 閉校記念協賛会
管理者 ー
建立の由来等

創立89年の栄光を称え閉校記念碑を建て後世に永く伝える。

B09 犬魂碑



所在地 深川保健所
建立年月日 昭和39年6月1日
建立者 —
管理者 深川保健所
建立の由来等

殺処分した捕獲犬、不用犬の慰霊のため鎮魂慰霊の意を表しこれを祀っている。

保健所移転に伴い現在地に移設。

B10 深川市・アボツフォード市姉妹都市提携記念



所在地 市役所前庭
建立年月日 平成10年9月14日
建立者 深川市
管理者 企画財政課
建立の由来等

深川市とアボツフォード市は、友好・親善を深め、相互の地域性を理解し、文化・教育・経済各分野の交流が効果的かつ継続的に推進されることを念願し姉妹都市提携を行う。

B 1 1 深川市民5つの誓い



所在地 市役所前庭
建立年月日 昭和48年8月10日
建立者 深川市
管理者 総務課
建立の由来等
深川市開基80周年市制10周年記念
として建立。

B 1 2 大地の恵み



所在地 市役所前庭
建立年月日 平成14年11月12日
建立者 深川市
管理者 総務課
建立の由来等
深川市開基110年市制施行40年記念
として建立。
制作者は福井尚敏氏

B 1 3 水稻癸祥之地



所在地 稲穂町1丁目6番
建立年月日 昭和40年5月15日
建立者 屯田二世会
管理者 ー
建立の由来等

元屯田兵伊藤兼太郎氏が明治29年此地に於て水稻栽培に成功し明治天皇にこれを献上依て其の功績を多とされ銀盃一個を下賜せられたり。

B 1 4 飛躍



所在地 一已小学校
建立年月日 平成7年10月21日
建立者 開校百周年記念協賛会
管理者 教育委員会
建立の由来等

開校100周年の栄光を讃え未来への限りない創造を願いつつ、モニュメントを「飛躍」としました。

B 1 5 和



所在地	一巳中学校
建立年月日	昭和38年10月
建立者	寄贈
管理者	教育委員会
建立の由来等	不明

B 1 6 開村記念碑



所在地	昇保会館
建立年月日	明治29年4月
建立者	—
管理者	昇保町内会
建立の由来等	団体を組んで入植し共に土と戦った人々が建てたもので、市内最古の石碑である。

B 1 7 彰徳碑



所在地 旧丸山保育園
(丸山寺前駐車場)

建立年月日 大正8年4月

建立者 一已屯田戸主

管理者 ー

建立の由来等

一已村開拓の初めから多くの出産児を取り上げた産婆水口イト「記念彰徳碑」がある。現在とは異なり恵まれない出産環境だったため、産婦ばかりではなく家族のすべてが産婆の処置に期待をしていたとみられる。また水口イトもその期待に応える心の師であり未来を託する健やかな子どもの安産を願っていたのであろう。

B 1 8 開基五十年記念碑



所在地 一已町8丁目3番通

建立年月日 昭和32年6月

建立者 ー

管理者 ー

建立の由来等

一已村開基50年の際に建立されたものと思われる。

B 1 9 監的壕



所在地 一已町8丁目3番通
建立年月日 平成11年9月1日
建立者 東原俊郎氏寄贈
管理者 ー
建立の由来等

現在の監的壕を建設した時の建設委員長が建立者の祖父であったこと、この壕が今後市民に親しまれ、半永久的に深川の歴史を伝えるものになってほしいとの趣旨から、今まで監的壕の内容等を記していた看板を石碑にして寄贈したもの。

B 2 0 北原白秋の碑



所在地 丸山公園
建立年月日 昭和48年8月
建立者 丸山観光協会
管理者 丸山観光協会
建立の由来等

大正14年夏白秋深川を訪れ屯田開拓の偉業を偲んで此の歌を作る。

深川市開基80年市制10年記念協賛。

B 2 1 丸山観光協会創立五十周年記念



所在地 丸山公園
建立年月日 平成24年
建立者 丸山観光協会
管理者 丸山観光協会
建立の由来等

丸山観光協会創立50周年事業の一環として碑を建立。

B 2 2 一已回顧



所在地 丸山公園
建立年月日 昭和47年7月
建立者 旧一已小学校教へ子
一同
管理者 丸山観光協会
建立の由来等 (句碑由来要約)

柴山与平先生は子弟教育の信条として一貫して報徳精神を以ってし、昭和49年7月教へ子の会の総意により先生快心の作「一已回顧」を句碑として贈り札幌市の柴山邸の一角に建立しました。

先生ご夫妻他界後、この句碑を一已に移設することが最良であると建立者が考え、ご遺族の賛成を得ました。

種々検討の結果、丸山公園が移設先として適地と考え、丸山観光協会の協力を経て昭和61年10月移設を完了致しました。

B 2 3 ますお沼記念碑



所在地 丸山公園
建立年月日 昭和45年9月
建立者 記念碑建立推進委員会
管理者 丸山観光協会
建立の由来等

故児見山増夫氏が元一巳村長或は道議会議員更には農民運動の先覚者として郷土の発展と福祉社会の建設に盡力今日の深川市の礎石をなしたる功労を顕彰し我等同志相計り據金により本碑を建立する。

又児見山毅氏東原直一氏古河建設株式会社を始め多くの人たちの善意により昭和44年沼の完成を見、ますお沼と呼称して、故人の遺徳と共に永く其の美挙を後世に残し傳えと欲するものがあります。

B 2 4 烏魂碑



所在地 一般廃棄物処分場構内
建立年月日 昭和61年11月
建立者 深川市
管理者 環境課
建立の由来等

廃棄物処分場で処分された烏の慰霊のため建立。鎮魂慰霊の意を表しこれを祀っている。

三上石材工業所より寄贈

B 2 5 頭取有明多蔵相撲記念碑



所在地 大国神社境内
建立年月日 大正7年
建立者 ー
管理者 ー
建立の由来等

草相撲頭取の碑で社会的背景が変わった今では理解できないが頭取が占めていた社会的な立場を表したものの。

B 2 6 忠魂碑



所在地 大国神社境内
建立年月日 昭和9年6月
建立者 ー
管理者 ー
建立の由来等

明治39年日露戦争戦死者の御魂を祭るため大国神社に木桂の忠魂碑を建立し、大正7年桑島伴伍第分会長時代に屯田兵第3中隊第4中隊の有志により石桂の忠魂碑を現在の分会旗奉焼碑の場所に建立した。昭和9年同北一已南一已の共有財産処分が行われ村内各団体にこれを分配された。在郷軍人会は其の分配金にて忠魂碑を建立し永久に残そうとの議があり、当時分会長の坂井弘作氏以下分会員の労力奉仕を以て原石を音江町に求め此れ搬出、現在地に建立した。

B 2 7 開拓記念碑



所在地 大國神社境内
建立年月日 大正13年5月15日
建立者 建設委員 為岡利三郎
他13名
管理者 ー
建立の由来等
一已村開拓記念碑。

B 2 8 在郷軍人分会旗奉焼之地



所在地 大國神社境内
建立年月日 昭和49年9月3日
建立者 ー
管理者 一已忠魂奉賛会
建立の由来等
不明

B 2 9 明治三十七・八年日露戦役記念碑



所在地 大国神社境内
建立年月日 明治40年9月
建立者 —
管理者 —
建立の由来等

明治37年8月6日に第7師団に動員令が下り、旧兵村では殆どの方が従軍した。

この戦没を偲んで建立された。

B 3 0 一己屯田入植百年記念碑



所在地 大国神社境内
建立年月日 平成6年9月6日
建立者 一己屯田入植百年記念事業委員会
管理者 —
建立の由来等

一己の地に屯田兵が入植し、百年の時を経たことを記念して建立。

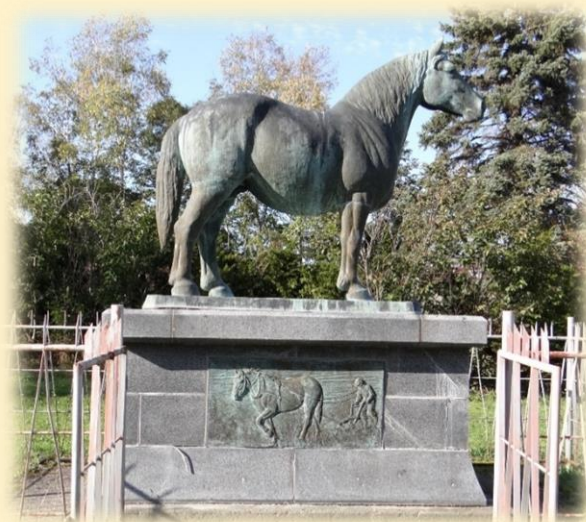
B 3 1 獣魂碑



所在地 大国神社境内
建立年月日 昭和60年8月
建立者 建設委員会
管理者 ー
建立の由来等

獣畜の靈魂を慰霊するため碑を建立。

B 3 2 開拓之馬像



所在地 大国神社境内
建立年月日 昭和54年9月
建立者 ー
管理者 ー
建立の由来等

一已地区は屯田兵のたくましい開拓魂と、どさんこ馬の声なき労苦の結晶により拓かれ、今日の美田沃野が形成された。しかし、戦後の著しい技術革新は、農業においても農業機械が急速に普及し、役馬の時代に終止符が打たれた。馬は農作業ばかりでなく、他の労役にも欠かせぬ存在として、長い間人類に貢献した功績は極めて大きい。ここにその偉業を後世に遺すべく、農耕馬の代表的小格鞍馬「日本釧路種」の馬像を建立したものである。

B 3 3 戦没者顕彰之碑



所在地 大國神社境内
建立年月日 昭和55年11月
建立者 一已忠魂碑補修委員会
管理者 -
建立の由来等
忠魂碑の台座部分の補修工事に併せて戦没者顕彰之碑を建立した。

B 3 4 一已4Hクラブ創立30周年記念



所在地 深川農村公園
建立年月日 昭和54年9月5日
建立者 一已4Hクラブ
管理者 -
建立の由来等
一已4Hクラブは戦後の荒廃した農村にあり、農業改良普及事業の一環として、新しい村造りの推進者となる青少年の育成と指導のもとで、昭和24年2月に真に農村を愛し情熱を燃やされた数名の同志が農村の混迷する世相を憂い、その名を4Hクラブとして産声を上げたのが始まりで、以来あらゆる苦難と障害を克服し、今日の輝く活動の基盤を築き、本年で30年の年輪を刻むに至ったのである。

B 3 5 屯田歩兵第一大隊本部之地



所在地 教円寺境内
 建立年月日 昭和29年5月15日
 建立者 一已村開基60周年記念執行委員会
 管理者 生涯学習スポーツ課
 建立の由来等

明治7年10月30日に北方警備、本道拓殖などを目的として屯田兵条例が制定され屯田兵制度が発足した。明治28年5月及び明治29年4月の両年に各府県から募集した屯田兵1000戸で第一大隊を編成し、その内第1・2中隊400戸は「チクシベツ」（秩父別）に第3・4中隊400戸は「イチヤン」（一已）に第5中隊200戸は「オサンナケツ」（納内）に移住し北辺の警備と本道の開拓に任じた。

この記念碑は屯田兵の苦労を偲ぶとともに第一大隊本部の所在を後世に伝えるため、第一大隊本部所在跡地に、一已村開基60周年記念執行委員会が建立したものである。

B 3 6 卒業記念碑



所在地 北新小学校
 建立年月日 —
 建立者 第50回卒業生
 管理者 教育委員会
 建立の由来等

北新小学校第50回卒業生が卒業記念として、コンクリート製の記念碑を制作したものの。



B 3 7 拓魂の像



所在地 あけぼの町拓魂広場
 建立年月日 昭和44年5月11日
 建立者 雨竜屯田二世会連絡協議会

管理者 生涯学習スポーツ課
 建立の由来等

老樹鬱蒼として昼尚暗い雨竜の原野、北門警備の銃を担い、伐木開墾の斧打ち振う時に明治28,9年 あゝさんたり、我等の父祖は屯田兵1,000名とその家族。

時恰北海道二世紀に向って飛翔する、記念すべき年にあたり、こゝゆかりの地、雨竜屯田第一大隊練兵場趾の一角に、屯田兵開拓の像「拓魂」を建立し先人が遺された不滅の鴻業に対し敬虔なる感謝の誠を捧げる。

制作者は竹中敏洋氏

B 3 8 元屯田兵千名の名簿碑



所在地 あけぼの町拓魂広場
 建立年月日 —
 建立者 雨竜屯田会連絡協議会
 管理者 生涯学習スポーツ課
 建立の由来等

雨竜屯田歩兵第一大隊 明治28,9年
 入植者1,000名の名簿を記した碑。

B 3 9 閑院宮載仁親王殿下御巡視記念碑



所在地 あけぼの町拓魂広場
建立年月日 明治34年8月30日
建立者 ー
管理者 深川市
建立の由来等

一已屯田兵村が深川村に属していた時、雨竜大隊は模範兵村として聞こえが高く、兵員の意気が盛んだった。明治33年34年と閑院宮載仁親王殿下の兵村御巡視がありそのたびに賞詞を受けると兵村には感激の渦が広がっていた。当時の深川村には代々天皇に勤仕した誇りに包まれるメム百戸団体と屯田兵村優位の意識を持つ二つの侵しがたい動きがあったから閑院宮の兵村巡視ののち当時の一已尋常高等小学校（のちの深川農業高校）校舎敷地内に急ぎ建てられたもの。

深川農業高校の校舎改築に伴い、支障物件となったことから、昭和59年に現在地に移設したもの。

B 4 0 一已村道路元標



所在地 あけぼの町拓魂広場
建立年月日 昭和9年
建立者 北海道
管理者 深川市
建立の由来等

この元標は、旧一已村道路の起終点とするため、昭和9年、一番線と五丁目線の交点に設置されていたものを、昭和60年10月に現在地に移設したものです。

B 4 1 開拓の鐘



所在地 あけぼの町拓魂広場
建立年月日 昭和59年6月21日
建立者 雨竜屯田会連絡協議会
管理者 ー
建立の由来等

この鐘は、明治28年7月1日屯田歩兵第一大隊本部開設以来、明治35年3月31日解隊まで、本部位置にあって時点鐘として用いられ、屯田本部解体後は一已尋常高等小学校に移管され大正末期まで始業と終業の時のなつかしい思い出の鐘である。

昭和50年開校80年記念展示のあと屯田兵屋（現在地）に移された。

B 4 2 屯田歩兵第一大隊練兵場跡



所在地 あけぼの町拓魂広場
建立年月日 平成6年9月
建立者 一已屯田会
管理者 ー
建立の由来等

明治7年10月30日に北方警備、本道拓殖などを目的として屯田兵条例が制定され屯田兵制度が発足した。明治28年5月及び明治29年4月の両年に各府県から募集した屯田兵1000戸で第一大隊を編成し、その内第1・2中隊400戸は「チクシベツ」（秩父別）に第3・4中隊400戸は「イチヤン」（一已）に第5中隊200戸は「オサンナケツ」（納内）に移住し北辺の警備と本道の開拓に任じた。

この記念碑は屯田兵の苦労を偲ぶとともに第一大隊本部練兵場の所在を後世に伝えるため、一已屯田会が建立したものである。